

令和3年度（2021年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

刑 法

D日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和3年度（2021年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（各5点）

以下の語句あるいは概念を説明しなさい。解答の際は、定義だけを記述するのではなく、学説の議論状況や判例の状況など解答すべき内容を問題に応じて自ら選択し、具体的な事例を自ら設定したうえでそれぞれ解答用紙5行程度で解答すること。

- (1) 類推解釈の禁止
- (2) 未遂犯と不能犯の区別

### 問題2（15点）

次の事例におけるXの罪責を論じなさい。ただし、特別法違反の点は論じる必要はない。

Xは、かつて交際していたA女から一切の連絡を拒絶されたことに憤慨し、この際Aと強いて性交しようと考えた。Xは、深夜持っていた合鍵を使ってAが住んでいたマンションの一室に入り、自室でくつろいでいたAを持っていたロープで縛り上げたうえで、嫌がるAの服を脱がして裸にしその膣内に自らの陰茎を挿入して性交した。

Xが満足して陰茎を抜いた頃には、Aはショックのあまり気を失っていた。Xが室内を見渡したところ、Aの現在の恋人から贈与されたと思しき高級腕時計（時価7万円相当。以下、「本件時計」という）があったため、Xは換金して生活費の足しにしようと考え、気を失っているAに対し、「俺に逆らうとどうなるか思い知っただろう。慰謝料代わりにこの時計はもらっていくからな」と言い放ち、本件時計を手にもマンションを立ち去った。

なお、Xは本件時計を発見した時点でAが気を失っていたことは認識していた。Aには気を失った以外に傷害は生じていない。

以上